

令和元年度 西東京市市民協働推進センター事業報告書

西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、平成21年の設立から11年。平成27年度開始第三期の5年目の最終年度となります。第三期で掲げた「つながる」ことを重点とした事業展開と、企業との協働など、裾野の拡大を目指したセンター運営を達成する事業計画とします。

センターは中間支援組織として、市民活動団体の自立・継続に向けてきめ細やかな情報提供、アドバイス、コーディネーターなどのサポートを強化します。さらに、SDGsや休眠預金等活用法の施行など社会状況を踏まえ、様々な事業を展開します。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
【重点事業】 広報・PR事業	センターの役割や機能、活動内容を広報・PRしてセンターに対する市民活動団体、市民の認知度向上及び利用者の増加を図る。 <下半期> ○NPO市民フェスティバル <通年> ○機関紙の発行 ○利用促進事業 ○広報戦略の実施	<p>① NPO市民フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実行委員会を開催(全10回) 臨時実行委員会含む ○参加団体説明会を開催 (9/28 参加団体23) ○直前説明会を開催 (1/18 参加団体42) ○第11回NPO市民フェスティバル開催 (1/25,26 参加団体79) ○NPO交流会開催 (7/20 参加団体23) <p>② センターの広報・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙の発行(5・7・9・11・1・3月号、各号1000部) ○ホームページ、SNSの運営 ○出前展示の実施 駅前フェスタ2019で展示(9/29) (主催・場所:保谷駅前公民館) こそだてフェスタ(9/14) (主催・場所:西東京市、こそだてフェス実行委員会・きらっと) ○利用促進品の配布(1月25日、26日) <p>③ 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>広報・PRに協力してくれる団体・企業・施設を拡大</p>	<p>① NPO市民フェスティバル</p> <p>今年度は新設の商業施設プレスポひばりが丘で開催が決定した。6月より実行委員会を立ち上げ企画を検討、参加団体説明会、直前説明会を経て1月25日、26日に「第11回NPO市民フェスティバル～まず一歩！のぞいてみよう地域の活動～」を開催した。両日の来場者数は4,506名あり、展示、ステージパフォーマンス、プレゼンテーション、ワークショップ(似顔絵、工作等)を行った。今後も一般市民へのアピールを継続し、市民活動への理解や参加を提起し続ける必要がある。 同時開催の「地域活動・スタート説明会」は5名の参加があった。</p> <p>② センターの広報・PR活動</p> <p>機関紙「ゆめこらぼ通信」奇数月発行に変更。また今年度は3面を利用し協働の事例をシリーズで紹介。 駅前フェスタ2019とこそだてフェスタに参加し、出前相談と展示によるゆめこらぼの紹介を行い、市民や市民活動団体へ認知度の向上を図った。</p> <p>③ 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>三幸タクシー、中川動物病院、田中葬祭との連携による広報・PR活動は継続。大和リース(株)との連携・協力により第11回NPO市民フェスティバルの開催に至る。タウン通信の協力により動画で広報をおこなった。協力団体を増やしていきたいが、センター開館業務と平行して行うにはスタッフの人員が足りない。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を集約・発信して、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図る。 <下半期> ○団体紹介冊子の発行 <通年> ○市民活動団体の情報収集・提供 ○市民活動に関する情報収集・提供</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ○機関紙「ゆめこらぼ通信」で情報提供(年6回) 団体の取材・活動紹介(12団体)、事例紹介(11団体) ○ホームページで団体のイベント情報を発信(840回) ○団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介 ○チラシ「イベント情報」の毎月1日発行(約1000部配布) 新型コロナウイルスの影響により3月は発行できなかった ○NPO市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1500部発行</p> <p>② 市民活動の情報・提供 ○市民活動の支援情報の収集・提供 ○市民活動の動向の情報・収集 近隣7市情報連絡会参加(8/1) 日本NPOセンター主催のCEO会議に参加(9/19・20)</p> <p>○市内の市民活動団体の活動実態調査</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ホームページのアクセス数は38,987件、市民活動に対する認知度の向上に寄与することができた。 ゆめこらぼ通信3面で紹介している「協働の事例」を通じて、協働の仕方、形が可視化された。団体から持ち込まれる情報が増えた。 市の職員が市民への窓口対応で団体紹介冊子をしようする例もあり、団体紹介冊子が有効に使われるようになった。 シェアしやすい画像情報を利用し、webで広報の強化を図る。</p> <p>② 市民活動の情報・提供 成金情報等をホームページに掲載(113件) 年2回開催される近隣7市情報連絡会※は新型コロナウイルスの影響により1回の開催となった。 CEO会議は地方での開催の為一回しか参加できなかった。 必要な会議や研修であっても東京近郊以外での開催だと予算の関係で参加出来ない。 ※ 小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市と西東京市の7市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p> <p>西東京市が平成31年3月にデータをまとめた「協働のまちづくりアンケート」結果報告書に基づき「令和2年NPO法人・市民活動団体実態調査報告書」を作成した。</p>
<p>相談事業</p>	<p>市民活動に関する一般的な相談、団体の設立や運営等の専門的な相談を基本的な事業として行い、市民活動を支えるセンターとしての役割を担う。 <通年> ○通常相談業務 ○出前相談業務 ○紙上相談(新規)</p>	<p>① 通常相談業務 センター登録団体数188団体、相談件数104件</p> <p>② 出前相談業務 エコプラザ第一会議室(5/29(1件)) 保谷駅前フェスタ(9/13(2件)) こそだてフェスタ(9/29(2件)) NPO市民フェスティバル(1/25・26(3件)) 合計相談件数7件</p>	<p>① 通常相談業務 通常相談は増加しているが、新型コロナウイルスの影響により3月は相談業務が行われなかった。</p> <p>② 出前相談業務 件数は少しずつ増加しており、相談者の相談内容が居場所の開設につながる等成果があり、今後も市民が多く集まる場所への出店を続けていく。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>人材、 【団体育成・研修事業】</p>	<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識の習得、市民活動団体等の立ち上げに向けた支援・育成、協働を推進するための意識啓発を行い、市民活動の人材、団体の育成を図る。 <下半期> ○地域活動・スタート交流会 <通年> ○地域活動紹介ゆめサロンの開催(年2回) ○講座セミナーの開催(年2~3回) ○おとばメディアサロンの開催(年に約10回)</p>	<p>① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 ○第1回「私たちにできること×子ども食堂」を開催(6/1(27名)) ○第2回「あなたにできること×安心・安全な地域for子ども」を開催(10/5(18名)) ○第3回「あなたに出来ること×楽しいこと@地域」3/21開催予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止の為中止</p> <p>② やってみ隊(自主企画委員会)による講座・セミナーの開催 ○「楽しい仲間の増やし方」講師西川正氏(3/20 定員20団体)</p> <p>② NPOパワーアップ講座 ○NPOパワーアップ講座「社会を変える、あなたのカー市民活動の原点」を開催(9/7(59名)) ○NPOパワーアップ講座「もっと知ろうよSDGs Part2~初めての方でも大丈夫~」を3/7に開催予定していたが新型コロナウイルス拡散予防のため中止</p> <p>③ おとばメディアサロンの開催 ○おとば&メディアサロンを開催(4/18(16名)、5/16(7名)、6/20(7名)、7/11(6名)、8/8(9名)、9/12(5名)、10/10(8名)、11/14(7名)、12/12(10名)、1/9(7名)、2/13(9名))。3/12は新型コロナウイルスの影響により中止</p>	<p>① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 今年度は地域活動の現場を見て回るのではなく、会場を借り、地域で活動している方々に活動の紹介をしてもらった。 第1回では子ども食堂をテーマとし、市内7カ所の子ども食堂の主催者が運営形態や立ち上げの経緯などを発表。参加者が活動に感銘を受け、ボランティアで参加することとなり継続している。 第2回は安心・安全な地域for子どもと題して、市民4名と教育企画課、田無警察署が地域での活動内容や情報の提供がなされた。</p> <p>② やってみ隊(自主企画委員会)による講座・セミナーの開催 今年度講師を招き団体を超えて地域の仲間を増やす秘訣の講座開催を予定したが、新型コロナウイルスの影響により中止。</p> <p>② NPOパワーアップ講座 9/7に実施した湯浅誠氏の講座は定員50名のところ62名の参加となり大変好評であった。 今後も市民活動にとって関心を持つテーマで企画していくが、予算が少ない為呼べる講師に制限がかかる。</p> <p>③ おとばメディアサロンの開催 参加者の提案により各回1名30分程度で自分が市民活動に関わった経緯や活動内容等を紹介するコーナーを取り入れた。それにより新規の参加者もあり、仲間づくりや市民活動に関する理解と関心を深めている。 NPO市民フェスティバルの実行委員にもおとば&メディアサロンのメンバーが参加し積極的に運営に携わっている。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、大学等の学校、市等の公共機関が相互に交流、連携、協働するためのコーディネートを行い、様々な関係者の「つながり」による地域連携の促進を図る。</p> <p>＜上半期＞ ○協働のまちづくりワークショップ ＜通年＞ ○まちづくり円卓会議(年3回) ○地域コミュニティ施策への協力</p> <p>【重点事業】 地域連携促進事業</p>		<p>① 交流事業 ○団体の交流会を開催(7/20(23団体・24名))</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ ○協働のまちづくりワークショップを開催(7/4(市民・団体:23名、行政職員25名、カメラボランティア1名))</p> <p>③ まちづくり円卓会議 ○テーマ「ひきこもり～ふみだすきっかけ～」まちづくり円卓会議開催(10/26 円卓会議メンバー：6名、参観者：22名) ○テーマ「再出発ができる社会へ・・・少年・少女との伴走を考える」まちづくり円卓会議開催(11/30 円卓会議メンバー：6名、参観者：15名)</p> <p>④ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 ○南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加(5/15、7/25、9/26、11/9、11/12、1/29) ○西部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加(5/9、7/11、9/12、11/9、11/14、1/25、2/9) ○中部地域協力ネットワークの設立準備会、設立総会に参加(5/30、10/18、1/24、2/18)</p>	<p>① 交流事業 例年NPO市民フェスティバル終了後に開催していた交流会だが、新会場の告知をするため7月に団体交流会を開催した。団体の良いところの再確認するワークショップ、ミニヨガ体験、第11回NPO市民フェスティバルのアイデア出しを行い団体同士の交流が図れ、アンケートには年に2回は開催して欲しいなどの意見もあった。</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ 『全てのひとにやさしい「こどもにやさしいまちづくり」～西東京市子ども条例から考える～』講演とワークショップの2部構成で開催。市職員と市民、企業が協働をすすめるために大切な対話を重ね、顔の見える信頼関係を気づく為のきっかけづくりの場となった。</p> <p>③ まちづくり円卓会議 会議メンバーがそれぞれがどのような目的で活動しているか共有することができ、違いも理解し合うことができた。また、円卓会議メンバーによるネットワークづくりに着手することに意見が一致した。会議メンバーや参加感謝の一人ひとりが、地域のありかたや、それぞれができること、やりたいことへの気づきや確認ができた。東京新聞に取り上げられた。ファシリテーターに合同会社Active Learnasを起用。ファシリテーターとグラフィッカーへの評価が高かった。 メンバーの人数が多いため、開催日の調整が課題となっている。</p> <p>④ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 中部地域協力ネットワーク(ふらわーネット)が始動。南部地域協力ネットワーク、西部地域協力ネットワークは定例会、勉強会、懇親会を開催した。3月予定していた定例会等は新型コロナウイルスの影響により全て中止となった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
施設の提供及びその他事業	<p>施設や機材の提供を行い、市民活動を支えることでセンターの利用者の増加を図る。 <通年> ○サロンスペースの提供 ○機材の提供 ○登録団体に対し、メールボックス(私書箱)の提供 ○その他の事業</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供 ○サロンスペースの提供 (来訪団体数：1,688団体、来訪者数：2,608名、サロンスペース：1,016名) ○機材の提供 504件 (コピー機：56件、印刷機：231件、紙折り機・裁断機：83件、ラミネーター：66件、AV機材：68件) ○登録団体に対し、メールボックスの提供(101個)</p>	<p>① 施設・機材の貸出・提供 プロジェクター等機材及びラミネーターの利用者昨年並み。 サロンスペース等の利用者数は月により増減がある。 施設の提供も含め、機材やメールボックスの提供があることの周知を継続していく。</p>
運営及び維持管理	<p>市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 <通年> ○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理</p>	<p>① 運営委員会の開催 (4/16(7名)、5/21(7名)、6/18(9名)、7/16(8名)、9/17(6名)、10/15(5名)、11/19(8名)、12/17(8名)、1/21(7名)、2/18(8名)、3/17(新型コロナウイルスの影響により中止))</p> <p>② 研修会への参加 (5/13、5/16、6/7、6/14、6/20、7/12、8/4、9/4、10/7、10/16、11/7、11/8、12/8、12/14、1/10、1/15、2/8、3/6)</p> <p>③ 運営における維持管理(常時) ○設備・機材の維持管理</p> <p>④ 第三者評価委員会開催 ○第三期の最終年度として第三者評価を実施</p>	<p>① 運営委員会の開催 運営委員で出席者が少なく会議が成立しないことがあった。</p> <p>② 研修会への参加 事業の企画や団体の支援に活かすための情報を得る目的で講座や勉強会に参加しているが、研修にスタッフが参加している間、センターに駐在するスタッフ数が少なくなる。しかし、スタッフの資質向上が必須なので工夫が必要。</p> <p>③ 運営における維持管理(常時) 職員の資質向上及び、事業のサービス向上を目指し、利用しやすいセンターの提供をしていく。</p> <p>④ 第三者評価委員会開催 成果の可視化性を求められたが、可視化するには難しい事業が多い。</p>